

# ホストファミリー マニュアル

～外国からの訪問者の一般家庭での  
受け入れについて～



「取手市の鳥 フクロウ」



「取手市の鳥 カワセミ」

平成30年12月 取手市役所 秘書課作成

# 目次

1. はじめに	・ ・ ・ ・ 1
(1) 外国と日本の関わり	
(2) 異文化理解・異文化交流	
(3) ホームステイ	
(4) 本マニュアル	
2. ホストファミリーとしての心構え	・ ・ ・ ・ 3
(1) 普段どおりが一番	
(2) 事前情報の収集	
(3) 住宅環境	
(4) 言葉	
3. ゲストの出迎え	・ ・ ・ ・ 5
(1) 出迎え	
(2) 家族の紹介	
(3) 家の中の案内	
(4) 各家庭のルール説明	
(5) ゲストの好み	
4. ゲストとの過ごし方	・ ・ ・ ・ 7
(1) 滞在中のスケジュール	
(2) 外出	
(3) ホストの家で過ごす	
(4) 食事	
(5) 体調	
(6) 就寝	
5. 受け入れ後について	・ ・ ・ ・ 12
(1) お別れ	
(2) お土産	
(3) お別れ後のお付き合い	

## 1 . はじめに

### (1) 外国と日本の関わり

今日、生活をしていく上で外国とのつながりなしには成り立ちません。例えば、皆さんが普段口にする食べ物や生活で使用する品まで、日本で生活をしていても身の回りには外国のものであふれています。また、観光やビジネスの目的で来日した外国からの方々をよくお見かけするほか、日々意識をしていなくてもニュースなどから外国の情報が耳に入ってくるでしょう。

さらに、昨今の日本全体の外国人人口の増加により、身近な環境で外国出身者の方々をお見かけしたり、直接交流したりする機会も少なくないでしょう。

### (2) 異文化理解・異文化交流

日本と外国は異国なわけですから言うまでもなく、生活様式や文化などが異なります。その上、使用言語も異なるので、言葉で意志疎通をおこないお互いの理解を深めるのは簡単なことではありません。日本人同士でも万人が日本語で理解をしようことが難しいのですから、生活様式や文化も異なる外国出身の方とならなさらでしょう。

お互いを理解し合うには、事前に相手のことを調べて情報を得るほか、直に交流をしてお互いを知るといった手段があります。実際に外国出身者と会話などを通して交流することで、相手の考え方を理解できるだけでなく、外国の文化などを肌で感じる事ができる貴重な機会となります。こういった交流を積み重ねることで、外国・外国出身者について理解を深める大きな力となります。

### (3) ホームステイ

外国の文化や生活様式を体験するために、その国で実際に生活をするという方法があります。その方法のひとつにホームステイを利用するのもひとつの手です。ホームステイは、外国人が訪問先で国の普段の暮らしを体験するために、一般家庭に宿泊することです。

外国人として一般家庭にホームステイをする側（本紙では以後「ゲスト」と呼びます。）も外国人を受け入れる一般家庭（本紙では以後「ホスト」と呼びます。）もお互いの意思疎通を通して、多くのことを学べます。例えば、生活しながらゲストとホストでお互いの国の生活様式を比較交流することで新鮮な発見があり、机上の知識ではない満足感が得られるでしょう。さらに、このホームステイにより、心温まる思い出ができるとともに、生涯続くかけがえのない交流の礎となるかもしれません。これらの経験は観光やビジネスなどでの外国への短期滞在では得ることが難しいものです。

ホームステイによる滞在期間は、1泊、約1週間、そして1年以上のものなど、その交流プログラムにより異なります。例えば、取手市の姉妹都市アメリカ合衆国カリフォルニア州ユーバ市との交流事業においては、通常、取手市からのユーバ市派遣ではホスト（アメリカ人）の家庭にゲスト（日本人）が、またユーバ市からの取手市訪問では、ホスト（日本人）の家庭にゲスト（アメリカ人）が6泊7日間の期間、それぞれの国に滞在することになります。

### (4) 本マニュアル

本マニュアルでは、ホストとしてゲストを受け入れる心構えやもてなし方など、外国からの訪問者を一般家庭に受け入れる際の基本事項について記します。また、本マニュアルに記された事項は姉妹都市交流事業など取手市主催のホストファミリーに関わるプログラムに特化したものであり、必ずしも他の団体主催によるホストファミリー交流になじまないことをここで申し添えさせていただきます。

## 2. ホストファミリーとしての心構え

### (1) 普段どおりが一番

ホストとゲストの交流プログラムにおいてもっとも重要なことは、ゲストに普段の生活を体験してもらうことにあります。受け入れ前に受け入れ環境をきれいにしておくことはマナーではありますが、受け入れのためにお金をかけて高価なものを事前に準備する必要はありません。ゲストは日本の生活を体験することを目的のひとつに来市するため、飾らない家庭生活をホストと過ごし体験できることがゲストにとって一番のもてなしとなります。

### (2) 事前情報の収集

ゲストの国の情報（地理・歴史・宗教・文化・習慣・タブー）を事前に調べておきましょう。会話の種として役立ちます。

また、ゲストが日本の作法を知っているとも限りません。ゲストが日本で生活をする中で、ゲストのふるまいが日本の作法等に合わないもの時があります。お互いに居心地が悪くなる前に、対話によりゲストのふるまいについてして指摘して、ゲストが日本で生活していく上での障害を取り除くように努めましょう。

※お風呂の入り方や家の靴での出入り（5 ページ (3) 家の中の案内・6 ページ (4) 各家庭のルール説明を参照）

また、日本と取手市の情報を事前に調べておくことも重要です。ゲストは日本や取手市のことを質問してくるでしょう。皆さんが日本人で取手市に住んでいるからと言って知らないことはあって当然かと思えます。そのため、日本や取手市のことについてあらためて勉強しておくことをおすすめいたします。日本の習慣や取手市の行事・イベントや観光地について準備しておくことでゲストとの会話もはずみます。取手市の情報や外国人が日本で生活する上で必要な情報について、外国語で発行しているものがいくつかあります。下記のリストを参考にしてください。

#### 【取手市発行】

- ・取手市観光ガイドブック（英語）、市勢ガイド（英語・中国語）
- ・取手市紹介映像（You Tube 上で公開：英語字幕版・中国語字幕版）
- ・ごみの捨て方案内（英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、タイ語、スペイン語）

### 【茨城県国際交流協会発行（協会ホームページ参照）】

- ・外国人のための生活ガイドブック（多言語対応）
- ・メディカルハンドブック（外国人のための医療情報：多言語対応）
- ・災害時マニュアル（外国人のための防災情報：多言語対応）

### （3）住宅環境

ホストの住居は一戸建てに限らず、マンション・アパートでも問題ありません。個室が用意できなくても、ゲストが一人でゆっくりできる時間とスペースを確保できれば十分です。ゲストによっては普段の生活から離れて不安な方もいます。自分のスペースがあればゲストの不安は和らぎ、心のゆとりもできます。部屋についてはフローリングのある洋式・畳の和式のいずれでも構いません。

さらに、ゲストのプライバシーを尊重する上で、自分のスペースは重要です。普段は開けっ放しのドアや襖もゲストにスペースを割り振った場合、滞在中はゲストのために閉めるなどの配慮をしましょう。

他にはゲストは自国の家族と連絡を取るため、家庭での **wi-fi** 環境の有無を気にします。もし自宅に **wi-fi** 環境が整っていない場合、近隣の無料 **wi-fi** に接続できる施設へ連れて行ってあげるのもよいでしょう。

### （4）言葉

言葉は通じないと不安を感じるものです。しかし、お互いの言葉が異なり、自分の思っていることすべてが相手に伝わらないのは承知の事実です。ホストの分かる言葉を使用して身振り・手振りを交えながら片言でも話す姿勢が重要です。その思いや根気があれば、大抵のことは相手に通じるものです。ゲストも相手に自分の考えを伝えようと母語を普段どおりの早いスピードではなくゆっくりと話してくれますので、安心してください。

ただし、相手への意思確認を怠らないとともに、「わからない」「はい」「いいえ」の意思表示ははっきりとしましょう。相手との意志疎通をうやむやのままにするとトラブルの原因となります。

### 3 . ゲストの出迎え

#### (1) 出迎え

ゲストとの初対面の際に緊張する必要は全くありません。笑顔と明るさとともにゲストを出迎えましょう。握手を求められたらためらわずに応じましょう。ホストが握手に応じてくれなかったり視線を合わせなかったりすると、ゲストは自分が歓迎されていないのかと不安を感じます。さらに、なるべくゲストの言葉を使って歓迎の意を伝えて異国での生活への不安を和らげてあげましょう。

取手市では、姉妹都市ユーバ市・特別友好都市桂林市の皆様を迎える際、歓迎式を行っています。ゲストの歓迎を表す、あるいは、ゲストがホストを見つけやすくするために、受入カード（ゲストの名前を書いたもの）をご用意するといいかもかもしれません。

また、ゲストは自分の国から取手市までの長旅で疲れています。家に連れて帰った後はゲストの体を気遣うようにしましょう。

#### (2) 家族の紹介

まず、ゲストを短い期間とはいえ家族の一員として迎え入れるので、これから生活を共にする家族の紹介をしましょう。紹介の際に不在にしている家族のメンバーについては、誤解を招かないように不在の理由（出張中、寮や病院にいるなど）もあわせて伝えましょう。

また、紹介の際は名前だけでなく、好きなことや仕事・学校のことなどを一緒に話し、自己紹介後の話題が広がるように努めましょう。会話・自己紹介を一方通行にするのではなく、会話のキャッチボールも重要です。

#### (3) 家の中の案内

ゲストが家に着き一息ついたときに、家の中を案内しましょう。特に、ゲストのスペース、食事をする場所、リビングルーム、台所、風呂場、トイレ、電気のスイッチ等の説明をしておきましょう。この時に、使用してはいけないもの、触ってはいけないものや入ってはいけない部屋があればあわせて説明しましょう。

#### 【トイレ】

家庭によっては、トイレの流し方がボタン式、レバー式、自動式のものやウォシュレット付きのものもあります。ゲストに操作方法を一から説明してください。和式トイレの場合、使い方の説明が特に必要です。

## 【風呂】

日本では浴槽の外で体を洗って入ることや、浴槽の中で体を洗わないこと、浴槽は湯船に浸かるものであり使った後は栓を抜かないことなどを説明しましょう。また、シャワーの温度調整の仕方を教えてあげるなど、お湯の温度にも気を遣ってあげましょう。

さらに、ゲストはお風呂に入った後に使用するタオルを持ってきていない場合が多いので準備をしてあげてください。

## 【冷蔵庫】

ゲストが冷蔵庫を使ってよいかを伝えてあげましょう。

## 【洗濯機】

ゲストが滞在期間中に使う服を日数分もってきていない場合があります。ゲストがどの程度まで洗濯機を使ってよいか、洗濯物を干す場所を伝えてあげましょう。また、こちらで洗濯をしてあげる場合もその旨を伝えてください。（ゲストが女性の場合、洗濯物を干す場所等に気を配ってください。）

### （４）各家庭のルール説明

食事・風呂・就寝や起床の時間・喫煙の是非などの家庭のルールをゲストに詳しく説明しましょう。ゲストによっては、朝にシャワーを浴びることを希望する方や、夕方・早朝にランニングをするために外に出たいという方もいるので事前に確認しましょう。また、日本では靴のまま家にあがらないことも家に入る前に確認しましょう。

ゲストが日本の作法に反した時には、その場で説明してあげるのがゲストにとっても親切です。

### （５）ゲストの好み

ともに生活をする上で、宗教上の制限・食べ物の趣向（ベジタリアンなど）・アレルギーの有無などを事前に確認する必要があります。知らなかったために、こちらで準備した食事を食べられなかったり、知らないで食べてしまい体調が崩れてしまったりする恐れがあります。特に、宗教上の制限や食べ物の趣向は、本やインターネットに書いてあるとおにのものではなく個人差があるため、特に確認が必要です。

また、ゲストの趣味や嗜好、来日の目的を聞くことにより、会話の糸口になるほか滞在中の過ごし方についてのスケジュールを立てる時にも役立ちます。



## 4 . ゲストとの過ごし方

### (1) 滞在中のスケジュール

滞在中のスケジュールについては、ゲストの意思を尊重することが必要です。取手市の組んだ滞在プログラムのほか、滞在中に何がしたいかの希望や意見を聞いて計画を立てましょう。

#### 【ユーバ市民訪問団受入事業の場合】

##### ○学生の場合

- ・夕方に到着しホストと対面
- ・土日のホストファミリーとの自由行動（年によっては土日いずれかの日にホストとゲストの両方が参加できる東京ツアーが開催されます。東京ツアーはホストも参加可能です。）
- ・2日間の学校体験（ホストの学生とともに学校に通います。ホストに学生がいない場合、ゲストの送迎により市内小・中学校で学校体験をします。）
- ・1日の市外ツアー（大人とともに市外ツアーに出かけます。ホストも参加可能です。）
- ・早朝にホストとお別れをして空港に向かいます。

##### ○大人の場合

- ・夕方に到着しホストと対面
- ・土日のホストファミリーとの自由行動（年によっては土日いずれかの日にホストとゲストの両方が参加できる東京ツアーが開催されます。東京ツアーはホストも参加可能です。）
- ・2日間の取手市内の公共施設の視察・見学（学生が学校に通っている間、取手市内の公共施設等を視察・見学する。）
- ・1日の市外ツアー（学生とともに市外ツアーに出かけます。ホストも参加可能です。）
- ・早朝にホストとお別れをして空港に向かいます。

※学生の学校体験以外の日は、ホストにゲストの取手市役所・自宅間の送迎をお願いしています。学生の学校体験では、ゲストとともにホストの家の学生が学校と一緒に通学します。

また、計画を立てる時は一方通行にはならず、相手の意思確認をしっかりとしましょう。相手が意図しないスケジュールを組むことでトラブルにつながりかねません。

## (2) 外出

ゲストは自分の興味等から外出したいという希望があるかもしれません。その際はできる範囲内で希望を叶えてあげてください。しかし、ホストの時間や都合、地理的な条件などにより、ゲストの希望に沿えない場合もあるでしょう。その際はゲストに意に沿えないことを正直に話して納得をしてもらい、ホストにとって無理のない受け入れをしてください。

さらに、外出に費用がかかる場合には注意が必要です。電車代などの交通費、施設の入館料など、お金が発生するものは事前にゲストに伝えるとともに、費用を立て替えて後日請求する場合はその旨を伝えておくことも重要です。その他、国際電話をかける時の費用についてもご注意ください。

また、ゲスト・ホストの両方にとって費用的な負担を強いるようなプランは避けた方がよいでしょう。飾らない受け入れが重要であり、過度な費用負担はゲスト・ホスト同士のトラブルにつながる場合があります。

ゲストが外出中にホストとはぐれてしまう場合があります。はぐれてしまうとゲストはどうしたらよいか分からなくなってしまいます。ゲストの外出時は必ずホストもついていくことが前提ですが、はぐれた時のために家の連絡先をもたせておくなど、もしもの時の対応を事前に取り決めておきましょう。

## 【買い物】

買い物は私たちの暮らしに欠かせないものです。外国と日本では売られているものが異なりゲストには良い刺激になるでしょう。ただし、買い物に出かけた際にゲストが欲しがっているからといって高価な品などを買ってあげることはおすすめしません。あくまで飾らない受け入れが重要です。

## 【神社・寺院】

日本には神社や寺院が至るところにあります。ゲストの興味を引くもののひとつですが、注意が必要です。特定の宗教への信仰心が強いゲストにとって、神社や寺院に立ち入ることに強く抵抗のある方がいるかもしれません。そういった方には同意を得てから施設に立ち入ることにしましょう。

### (3) ホストの家で過ごす

せっかくのホームステイですので外出にこだわらずにホストの家庭で話をし、時間を過ごすのも良いでしょう。いずれにしても、受け入れに際しゲストの意思をできる限り尊重してください。

#### 【ゲームやスポーツ】

トランプゲームやスポーツなど言葉を介さない遊びをしてお互いに打ち解けるのもひとつのコミュニケーションです。

#### 【話す内容】

ゲストによっては、政治や宗教の会話を心地よく感じない人がいます。相手と打ち解けないうちにこれらの話題をホスト側からするのは避けましょう。また、本人が話したくない話題に深入りするのを避けましょう。

#### (4) 食事

ホストが多く気を遣うことのひとつです。ゲストのために豪華な食べ物を準備するなど気を遣う必要はありません。ただし、宗教上の制限やアレルギーには必ず気を配るようにしましょう。

##### 【宗教上の制限】

宗教上の理由により、食べることができないものがあります。これは好みといった問題とは異なります。例えば、宗教上の理由により牛肉や豚肉が食べられない、お酒を飲めないなどというものです。ゲストにとって重要なことですので事前に確認しましょう。

##### 【アレルギー】

**命に関わる重要な情報**です。アレルギー成分の入った食事をゲストに出さないのはもちろんですが、食事を提供する前、または外食する際にアレルギー情報に必ず留意してください。

ここでは、食事のアレルギーの話ですが、ゲストによっては動物アレルギーや薬アレルギーの方などもいるので、ゲストがもつすべてのアレルギー情報に留意しておきましょう。

##### 【菜食主義者】

人によっては肉類・魚介類全般がダメな人、肉類は食べられないが魚介類は食べられる人、肉のエキスやかつおだしさえ食べられない人、卵やチーズなどの動物性の食品をすべて食べない人など様々です。直接ゲストに食べられるものと食べられないものを聞いてみてください。

#### (5) 体調

ゲストがけが・病気をした場合、病院にかからざるを得ない場合があります。受け入れの際に取手市が協力を依頼している医療機関があるので、病院など医療機関にかかる前に必ず秘書課までご相談ください。病院にかかる費用についてはゲスト本人の負担となります。

さらに、市販の薬については、日本人に合わせているためゲストには使わないことが無難です。また、ゲストによっては喘息もちなどで本国より薬を持参にしている方がいます。気にかけてあげましょう。

#### (6) 就寝

ゲストは慣れない地と生活に疲れがたまっているかもしれません。ゲストが疲れて眠いのにホストに気を遣い話に付き合ってくれていることがあります。ゲストの様子に気を配り、早めに一人の時間を作ってあげるのもホストの気遣いとして重要です。

また、次の日にプログラムを控えている場合は、家を出る時間や起床時間を就寝前に確認してあげましょう。

## 5 . 受け入れ後について

### (1) お別れ

ゲストを送り出す時、ゲストの家に忘れ物がないか再度確認してあげましょう。特にパスポートを忘れると出国できずゲストが困ってしまいます。学生の場合、クローゼットにジャケットの忘れ物も多いため、家を出る前にホストも確認するようにしましょう。

### (2) お土産

ゲストが帰る際にお土産を多く渡す方がいますが、お土産を渡す必要はありません。ホストと過ごした有意義な時間と日本での体験がゲストにとっての大きなお土産になります。

ゲストによっては、お土産を持ってくるのでそのお返しに迷う方もいるでしょう。お返しを考えている方は高価なものは控えて、ホストとゲストで撮った写真やほんの気持ちの品などを渡すにとどめましょう。

### (3) お別れ後のお付き合い

お互いに住所やメールアドレスを交換して、やりとりを続けたいという方が多いかと思います。しかし、ゲストによっては連絡がなかったりやりとりが途中で途絶えてしまったりと、それっきりの縁になってしまうかもしれません。そのような時は自分を責めないでください。ゲストも人ですからその時よっての忙しさや都合もあるでしょう。こういったことを受け入れることもホームステイのひとつであるといえます。受け入れられた皆さんに良い縁があることを祈っております。

